

## 山行報告

### 新潟の山 <sup>やひこ</sup>「弥彦山・<sup>かくだ</sup>角田山」 山行報告

山城山の会（例会）と田辺合同山行 染矢つや子

CL：染矢 SL：高木 会計：布施田（禮） 参加者11名（男3・女8）  
山城山の会：田中・布施田・横井・岡田・高田 田辺山友会（個人山行）：岸田・姫嶋 一般：藤井

4/12（金） 祝園駅 21:30 八幡東 22:10

4/13（土） 三条燕IC 5:40 国上（クガミ）道の駅 6:00

道の駅—国上山山頂—剣ヶ峰—弥彦スカイライン（昼）—雨乞山—弥彦山頂上—弥彦神社駐車場  
7:15 9:15 10:05 12:15~40 13:05 14:55 15:50



2年前に計画した山行がようやく実現。山行1ヶ月前にSL・会長の布施田氏とミーティング。

当初8名と参加者が少なく夜行バスの予約・タクシー料金・電車の時間・費用等調べていたが貸切バスより少し安いだけなので移動のロスタイムを考えるとバスの方が便利と当初の計画通り平安バスに。

三条燕ICを下りると車窓から雪を冠った「弥彦山」が見えた。日本一の大鳥居はお見事です。車でサーっとくぐるのはもったいない。道の駅に着くと雨が・いっこうに止む気配なし、朝まで雨が残る予報だったのでその内に晴れることを祈る。「てまりの湯」の前を進むと池の中には束に植えられた水芭蕉が清楚に咲いている。雨の中早速カメラを構

える人。「花の名山」を歩きましょう！の企画なので花好き・写真好きの方が多い。山に入ると「かたくりの花」が所狭しと咲いている。雨で頭を垂れていたがそれでも群生を目にするのが初めての人達は歓声を上げている。写真を撮りながらゆっくりだったので国上山まで2時間かかってしまった。剣ヶ峰分岐～剣ヶ峰～林道出合は悪路でぬかるみと悪戦苦闘。

林道で道標が途切れ地元のハイカーに道を尋ね少々不安を抱きつつ進む。車を止めてのんびり散策している男性に再度道を確認すると間違っていたが親切に猿ヶ馬場分岐まで案内して下った。分岐に道標がありそのまま進むが途中で登山道が消える。ウロウロしながら尾根の方に登って行くと登山者が見えほっとした。きちんと登山道はあったのだ。林道からここまでは不安の連続だった。もう少し案内がしっかりしていると思っていたのだが・弥彦スカイラインに着き昼食 長い立派な土筆が並んでいた。

お天気も快晴になりひと安心。能登見平に近づくと又かたくりの花が太陽を浴び一段と元気に輝いている。白のいかり草も控えめながら綺麗に咲いていた。急登を登りきった所にベンチが、休憩の声はありませんが目の前が日本海、ベンチに腰かけた満足げな顔が。「まだ頂上ではありません、もう少し頑張ってください」と声をかけたが、またしてもぬかるみの所を登ることに。弥彦山山頂 広く立派で素晴らしい。展望も申し分なし。予定の時間をかなりオーバーし、泥んこ道で足も疲れていることもあり全員ロープウェイで降りることにした。一旦バスの所



まで行き40分の自由時間をとった。今夜の宿「寿館」へ移動。夕食は蟹・さしみ・カレー塩焼天ぷら・等々12種類以上が並べられた。「サービスです」と一升瓶の地酒がテーブルに置かれた。

ほんとに8000円？

朝は雨で自己紹介が出来なかったので、少しお酒が入ったところで紹介。山城さんの参加者の大半は昨年の公開ハイクを機に入会された方ですが山のベテラン揃いでした。ふかふかの布団に窓からは日本海が一望出来大満足で床に就く。

4/14(日)	宿	——	桜尾根登山口	——	角田山頂上	——	灯台コース下山	——	宿着
	7:05		7:15		8:55		9:15		11:10

「角田山」のコースは放射状になっています。下りは最初から海を見下ろしながら歩ける「灯台コース」と決めていましたが登りのコースに悩みながらも「五ヶ峠」に決めていた。おかみさんに登山口までどのくらい時間がかかるのか聞いたところ宿から一番近くて花が最高のコース「桜尾根」を勧められた。朝食前に登山口の確認に行く。「桜尾根」の表示はないが登って行く人に聞くと間違いなかった。

朝食も美味しく皆さん食欲旺盛のようで嬉しい。出発の時間を何回か繰り返して言っていたが皆さん割とのんびりしている。今日は先頭を歩く。どんな色の花々が私達を迎えてくれるのかワクワクする。

登りはじめてすぐに「雪割草」を見つける。進入禁止のロープが両サイドに張られている。白・うす紫・青紫・白に周りが淡いピンク・次々と色を変え楽しませてくれ急な登りも疲れしらず。

さすが花の宝庫「角田山」かたくりも負けずに斜面いっぱい咲きほこり可憐な花々の競演に満足。

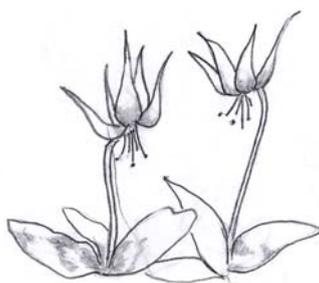


<清楚な雪割草>

「えんれい草」が顔を出す。小ぶりだがたくさん咲いていて緑の葉っぱが瑞々しい。木道を登りきると「角田山」頂上。小さな小屋がポツンと1軒、煙突から煙が出ていた。公園風でとても広くベンチも置かれかなり整備されている。海から1時間半でこれるこの山は地元の人には憩いの場所に最適で羨ましい。

灯台コースを下る。花はそれなりに咲いていたが「桜尾根」があまりにも素晴らしかったので少々寂しさを感じる。階段ばかりで時々石をセメントで固めたところもありチョッピリ岩稜トレーニングになる。

快晴の日曜日とあってハアハアいいながら多くの登山者が日本海を背に登って来る。このコースを登りにしていたら我々のパーティーは何時間かかったのか想像がつかない。眼下に日本海を見下



ろしながらの下山は最高！！灯台を1周して急な階段を下りると海でゴール。写真を撮る時間を考えて所用時間を4時間とみていたが予定通りだった。海を眺めながらの昼食。宿からお土産に「雪割草」を1株ずつ戴いた。至れり尽くせりの「寿館」おかみがさんが手を振って見送ってくれた。12時発巻瀧東ICに乗り帰京。途中渋滞もあったが田辺には20時30分着。諸事情により実施まで2年かかったがようやく任務終了。「思いがけず素晴らしい山に連れて来て下ってありがとう」の言葉に肩の荷がおりた。

<ヒヤリハット>

道迷い：猿ヶ馬場分岐の登りで二股になっている所を見落とし谷に下り途中で道が消えた。

## 感想文

弥彦山・角田山（新潟）はお花の宝庫でした！

姫嶋ゆりこ

20年ぶりの計画が実現し、山城山の会8名と山友会3名の11名で、4月12日夜からマイクロで14日まで、弥彦山・角田山に登ってきました。山城山の会の皆さんは花に詳しい方も多く、すぐに和気あいあいと打ち解けて楽しく登山が出来ました。

登り初めは小雨に合いましたが、水芭蕉が私達を迎えてくれました。弥彦山は、ぬかるんで3歩登って1歩すべるような感じでしたが、道の左は山並みが続き、右手には日本海が望まれ、カタクリの群生が、雪割り草が続きました。苔むした穴からは蛙が「ぼくはここにいますよ」と低音で歌っていました。今回初めてデジカメを持参しましたが、みごとにピンボケばかりでガッカリです。来年は写真展に出品できるように頑張りたいと思います。

宿は海岸にあり、細かい砂除けで窓は二重になっていました。おかみさんや娘さんは優しく、料理もカニ、刺身、天プラ、茶碗蒸し等、食べきれない位で、宿から差し入れのお酒で自己紹介をしながら楽しい一時を過ごしました。

翌朝は、宿近くの登山口から角田山へ登りましたが、白い木蓮や黒もじの間にカタクリ、スマレ、雪割り草の花々が可憐に咲いていました。山頂での集合写真を撮ってもらおうと、サングラスの一见怖そうな方に頼んだら「は～い、笑わないで！」と言われ、逆にドッと笑ってしまいました。外見で判断しちゃってごめんなさい！帰りは灯台コース(2.8Km)を下りましたが、遠く海岸線が望め、奇岩立岩や佐渡もかすんで見えました。海岸で波の音を聞きながらのビールは最高でした！

宿のおかみさんが、皆に大切に育てた『雪割り草』の苗を下さいました。

すてきな山行でした。皆様に感謝です！



<登山道に雑草のごとく咲くカタクリ3姉妹>

